

JVA REPORT

8

'17 AUGUST
NO.183

MAIN REPORTS

- 一般社団法人日本映像ソフト協会 役員名簿
- 2017年度事業計画
- 『11月3日はビデオの日』企画内容の
進捗状況について

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW



一般社団法人日本映像ソフト協会 役員名簿	2
2017年度通常総会および第367回、第368回定例理事会開催報告	3
2017年度事業計画	3
『11月3日はビデオの日』企画内容の進捗状況について	6
2017年度中堅社員合同研修会を開催	8
アンチリッピングキャンペーントレーラー収録作品数	8
「映像素材のファイル化に合わせたクラウドサービス活用のご提案」説明会開催	8
映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2016報告②	9
不正商品対策協議会	11
コンテンツ海外流通促進機構	12
リレーエッセイ⑫	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計（5月、6月）	14
「JVA秋の懇親会」開催のお知らせ	14

一般社団法人 日本映像ソフト協会 役員名簿

去る、6月8日(木)に開催された通常総会において、役員全員が任期満了となり、17名が再選され、3名が新たに選任された。また、定例理事会において各部長が選任された。8月現在の役員および各部長は以下のとおり。

理事

(五十音順・2017年8月現在)

 <p>代表理事会長 しまたに よししげ 島谷 能成 東宝(株) 代表取締役社長</p>	 <p>代表理事副会長 いのうえ しんいちろう 井上 伸一郎 株KADOKAWA 代表取締役専務執行役員</p>	 <p>専務理事 ごとう たけろう 後藤 健郎 (一社)日本映像ソフト協会</p>
 <p>いたの ゆうじ 板野 裕爾 株NHKエンタープライズ 代表取締役社長 ＜業務部長＞</p>	 <p>おおたに のぶよし 大谷 信義 松竹(株) 代表取締役会長 ＜流通促進部長＞</p>	 <p>かわい しろう 川合 史郎 20世紀フォックス ホームエンターテイメントジャパン(株) 代表取締役社長</p>
 <p>かわしろ かずみ 川城 和実 バンダイビジュアル(株) 代表取締役社長</p>	 <p>さとう なおき 佐藤 直樹 日活(株) 代表取締役 執行役員社長</p>	 <p>たかぎ 高木 ジム NBCユニバーサル エンターテイメントジャパン(同) 最高経営責任者兼社長</p>
 <p>たなか ひさなり 田中 久也 ウォルトディズニージャパン(株) メディア・ディストリビューションゼネラルマネージャー ＜eメディア部長＞</p>	 <p>てらしま 寺島 ヨシキ エイバックス・ピクチャーズ(株) 代表取締役会長</p>	 <p>はなふさ しゅうじ 花房 秀治 株パップ 代表取締役社長執行役員</p>
 <p>まつおか ひろやす 松岡 宏泰 東宝東和(株) 代表取締役会長</p>	 <p>まみや とらまつ 間宮 登良松 東映ビデオ(株) 代表取締役社長 ＜営業部長＞</p>	 <p>むらかみ きよし 村上 潔 キングレコード(株) 専務取締役 新任</p>
 <p>むらまつ しゅんすけ 新任 村松 俊亮 株ソニー・ミュージックエンタテインメント 取締役コーポレートEVP</p>	 <p>よしむら たかし 吉村 隆 株ポニーキャニオン 代表取締役社長 ＜著作権部長＞</p>	 <p>よだ たつみ 依田 巽 ギャガ(株) 代表取締役会長CEO</p>

監事

 <p>ほし ただひろ 新任 保志 忠郊 株第一興商 代表取締役社長</p>	 <p>まえだ てつお 前田 哲男 染井・前田・中川法律事務所 弁護士</p>
---	---



2017年度通常総会および第367回、第368回定例理事会開催報告

去る、6月8日(木)午後2時より、当協会会議室において**2017年度通常総会**を開催した。正会員社29社のうち出席社29社(委任状出席2社、議決権行使書提出12社を含む)だった。以下のとおり報告事項1件が報告され、決議事項3件が承認された。

●報告事項

1. 2017年度事業報告書 報告の件

●決議事項

- 第1号議案 2016年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書(案)承認の件・承認
- 第2号議案 2017年度事業計画書及び2017年度収支予算書(案)承認の件・承認
- 第3号議案 役員20名(理事18名、監事2名)選任の件・承認

第367回定例理事会は、2017年6月8日(木)、2017年度通常総会の終了後午後2時35分より、当協会会議室において開催された。議事の要旨は次のとおり。

●決議事項

- 第1号議案 代表理事選任の件・承認
- 第2号議案 業務執行理事選定の件・承認
- 第3号議案 部長選任の件・承認
- 第4号議案 「CEATEC JAPAN 2017」に対する協賛名義使用承認の件・承認

●報告事項

1. 各分会報告について
2. 市場活性化キャンペーンについて
3. 知財関係報告
4. 2017年4月度ビデオソフト売上速報
5. 2017年4月度映像配信統計報告について

第368回定例理事会は、2017年7月4日(水)午後2時より、当協会会議室において開催された。議事の要旨は次のとおり。

●決議事項

- 第1号議案 「CDVJ」ショップコンテスト2017」に対する後援名義使用及びJVA特別賞設定承認の件・承認
- 第2号議案 第30回東京国際映画祭に対する後援及び後援名義使用承認の件・承認
- 第3号議案 「Japan Content Showcase 2017」開催に伴う後援名義使用承認の件・承認

●報告事項

1. 各分会報告について
2. 市場活性化キャンペーンについて
3. 知財関係報告
4. 9月度総合連絡委員会及び懇親会の開催について
5. 2017年5月度ビデオソフト売上速報について
6. 2017年5月度映像配信統計報告について
7. その他

2017年度事業計画

2017年度事業計画

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

2016年のビデオソフトのメーカー出荷実績は2047億2700万円で前年比93.9%となり、10年以上、前年割れが継続している。

昨年、こういった状況から、市場活性化施策が最重要課題であることが理事会において確認され、市場活性化キャンペーン「11月3日はビデオの日～おうちでエンタメ!」を実施することとなった。セル、レンタルの両方のマーケットにおいて、メーカー、流通、ショップといった業界を横断する形でのキャンペーンが実施できたことは大きな成果であり、今年度も、昨年度の反省点を生かしつつこの活性化キャンペーンを継続し、映像パッケージ市場の回復につなげていかなければならない。

また、2016年は新しい映像フォーマットのUltra HD Blu-rayソフトが発売された。本年度は、より進化した映像体験を一般消費者にアピールし、新たなニーズの開拓に努めていく年となろう。加えて、一般消費者の生活に徐々に浸透しつつある映像配信であるが、さらなる市場の発展を促し拡大を図っていくためにも、引き続き、コンテンツ

提供側からのマーケティング施策の研究と実態把握が求められている。

2017年度は市場規模の回復を目指し、以上のような「既存市場の活性化」と「新たな市場の発展・拡大」に注力するため、次のような事業を推進していく。

[] 内は担当主務部会

[1] 映像ソフト産業の健全な発展をはかる施策の実施 [業務部会]

1. 映像ソフトのバリアフリー化・アーカイブ化の運用ルール等環境整備

会員社や関係官庁・関係団体等が行っている映像ソフトのバリアフリー化(音声ガイドや日本語字幕の付与等)・アーカイブ化の取組みについて、運用ルールの構築等の支援協力を行い、誰もが映像ソフトを楽しむことができる環境整備に努める。

2. 協会活動充実のための新入会員勧誘の促進

映像ソフト産業界を代表する団体として、業界の発展に資するため、より多くの映像ソフト製作者、流通・映像コンテンツ関連事業社等の入会を募る。

3. 倫理問題の研究・意識の啓発

青少年に及ぼす映像ソフトの影響に鑑み、倫理規定遵守の徹底をはかる。

また、倫理問題の研究と意識の啓発に努めると共に、関係官庁・関係団体との連携・協力を努める。

4. 経理・税務問題の検討

税制改正、会計処理の変更等については、随時対応について検討する。

5. 正会員各社を対象にした合同社員研修の実施

イ. 4月入社社員を対象にした新入社員合同研修を実施する。

ロ. 新入社員以外の社員を対象にした合同研修を実施する。

6. 映像商品制作に関する調査・研究

映像関連技術情報や商品管理情報の収集を行い、必要に応じて会員社へ情報提供を行う。

[2] 市場の整備及びマーケティング活動の活性化

1. マーケティング施策の調査・研究

[営業部会／業務部会]

イ. DVDビデオ・ブルーレイ・Ultra HD Blu-rayの市場動向を把握するとともに、レンタル、セル等の市場別マーケティング施策の研究・検討を行う。

ロ. 映像配信の市場動向を把握することを目的として、会員社の映像配信売上についての調査を実施するとともに、映像配信のマーケティング施策の研究・検討を行う。

ハ. 映像コンテンツのデータベースについて、(株)ジャパンミュージックデータとの提携を継続し、データ収集状況ならびにデータベースの利用実態を把握する。

2. 業務用市場の流通の円滑化と活性化のための施策

[流通促進部会／著作権部会]

ホテル、バス、健康ランド、船舶、複合カフェ、公共施設等における映像ソフトの上映・配信利用に対する正規市場の維持・発展に努める。

3. レンタルシステムの運用

[レンタル運用委員会／流通促進部会]

当協会のレンタルシステム加盟店の実態把握と未加盟店の加入を促す。

4. 市場活性化の施策

[市場活性化キャンペーンワーキンググループ]

セル、レンタルともに市場活性化を目的とした「11月3日はビデオの日」のキャンペーンを昨年度に引き続き実施する。

5. 会員地区連絡協議会への支援

[流通促進部会]

映像ソフト市場の健全な発展のため、会員社出先機

関で組織された会員地区連絡協議会が行う市場活性化、著作権保護活動等の諸活動を支援する。

[3] 知的財産権の擁護確立及び施策の推進

1. 著作権に係わる広報・普及活動

[業務部会／著作権部会／流通促進部会]

映像著作物の許諾実務、映像ソフトの著作権に関する諸問題について、調査研究を行い、広報・啓発活動を行うとともに、関係官庁・関係団体の行う知的財産権に係わる広報・啓発活動に協力する。

特に、無許諾配信等著作権侵害のツールである技術的制限(保護)手段を無効化(回避して複製)するリッピングソフトの提供、使用等が違法行為であることの周知を図るための広報活動として、『アンチリッピングキャンペーン』を会員各社と協力し、継続して実施する。

2. 識別シールの発行等

[レンタル運用委員会／流通促進部会]

海賊版識別及び頒布権の行使態様を表示するための統一マークを印したシールの発行及び同マークの登録商標の利用許諾を行い、正規市場の維持を図るとともに、一般利用者の正規品識別に資するよう努める。

3. 関係権利者団体との間における諸問題への対応

[著作権部会]

関係権利者諸団体と著作物使用料規程その他の諸問題について協議する。

4. 著作権保護と無許諾利用の防止

[著作権部会／流通促進部会]

関係官庁や関係団体と連携して、映像著作物の無許諾利用(複製・頒布・上映及び配信等)の防止に努める。また、技術的制限(保護)手段を無効化(回避して複製)するリッピングソフトの提供行為等の防止に努める。

5. 国際的著作権問題に対する対応

[業務部会／著作権部会]

イ. 海外での映像ソフトの無許諾利用の防止に努める。

ロ. 原産地証明の発行

台北駐日経済文化代表處からの要請により、倫理基準の遵守と台湾における海賊版防止のため、関連団体との連絡を密にしながら原産地証明を発行する。

ハ. 海外での映像ソフトの利用実態を把握するため、必要に応じ近隣諸国及び地域に視察団を派遣する。

6. 著作権法等の整備への対応

[業務部会／著作権部会]

著作権法第38条第1項に関する当協会の見解の普及に努めつつ、著作権法制度の整備を含め、著作物の通常の利用が妨げられない同条同項の運用がなされる環境の構築に努める。また、私的録音補償金制度に関する審議会の審議動向を注視しつつ、その状況に適した対応に努める。

[4] 映像メディアの現状と今後に関する調査・研究

[4] 映像メディアの現状と今後に関する調査・研究

[eメディア部会]

1. 映像配信事業に関する調査・研究

イ. 映像配信技術・管理技術及びマーケティング施策に関する調査・研究を行う。

ロ. 映像配信をはじめ、多様な映像コンテンツ流通チャンネルが提供されている諸外国へ、必要に応じ視察団を派遣する。

2. 映像ソフトに関する調査・研究

映像ソフトに関する新たな技術や流通等に関する調査・研究をする。

3. セミナー・研究会の開催

映像メディアの将来に係わる重要な情報技術や社会情報学に関する調査・研究を行う。また、必要なセミナー・勉強会を開催する。

4. 映像配信市場に関する広報・啓発のあり方について検討する。

[5] 映像ソフトに関する調査

[業務部会／営業部会]

1. 協会会員社を対象とする売上の統計調査の実施

イ. 映像パッケージソフトの売上統計調査を半期ごとに年2回実施し、報告書を作成して公表する。

ロ. 映像パッケージソフトの月間売上統計調査を実施し、速報として公表する。

ハ. 映像配信事業に係る月間売上統計調査を実施し、会員社及び協力社に結果を提供する。

2. レンタル市場の実態把握のため、レンタルシステム加盟店を対象とした「ビデオレンタル店実態調査」を実施し、報告書を作成して公表する。

3. 消費者レベルでの映像パッケージソフトや映像配信の市場動向を把握するため、「映像ソフト市場規模及びユーザー動向」に関する調査を実施し、結果を公表する。

[6] 国際的諸問題に対する対応 [流通促進部会]

1. 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構

(CODA) に参画するとともに、海外における日本コンテンツの流通環境の整備等を推進する。

2. 海外市場の実態の把握

協会会員社の関連性の高い海外市場の実態調査・研究に資するため、必要に応じ近隣諸国及び地域における実態調査を行う。

[7] 情報の収集及び提供 [業務部会]

1. 会報の発行

協会の事業活動報告、当面する諸問題の報道・解説、国際情報等を内容とする「会報」を、年6回発行する。

2. ホームページ等を通じた情報提供、PR活動の充実
ホームページ等を通じて、著作権に関するQ&Aやマーケットデータ、協会事業等につき、会員社内外及び一般利用者へ情報提供やPR活動を展開する。

3. 一般紙・業界誌等の報道機関と接触を図り、協会活動等につき広報活動を展開する。

[8] 内外関係機関等との交流及び協力

1. 関係諸官庁等に対して、映像ソフト産業の特性、実態等の的確な説明に努め、映像ソフト産業の健全な発展のために協力を要請するとともに、自主規制による良好な環境整備の実現に努める。

[業務部会／著作権部会]

2. 関係諸官庁等に知的財産権保護活動に理解を求めるとともに、知的財産権侵害の取締りを要請する等健全な市場の維持・発展に努める。

[業務部会／著作権部会／流通促進部会]

3. 協会が事務局を務める不正商品対策協議会等、会員として加盟する関係諸団体の事業に協力するとともに、協会の事業に対する理解・協力を要請する。また、その他の関連する団体との交流を図る。

4. 諸外国関連団体との交流を図り、国際市場の整備を目的とする内外情報の交換・著作権情報の交換及び著作権保護活動等を通じ国際市場の健全な発展に努める。

[業務部会／著作権部会／営業部会／流通促進部会]

5. 日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合(CDVJ)主催「ショップコンテスト」にてJVA賞を設置、レンタル店の活性化を支援する。東北地区連においてはCDVJと共に同組合が主催する「ショップコンテスト」に「頑張ろう！東北！」賞を設置、東北エリアの復興支援をサポートする。

[業務部会／営業部会]

6. 関西、中部地区連、および、CDVJと協力して西日本合同賀詞交歓会を共同開催し、広くエリア活性化に協力する。

[業務部会／営業部会]

[9] 会員社間の交流の緊密化を図る催事の実施

会員社の交流を図るため、新年賀詞交歓会、会員親睦ゴルフコンペを実施する。

また、正会員、協賛会員を対象に現場レベルの懇親を図る「総合連絡委員会主催懇親会」を開催する。

以上

『11月3日はビデオの日』企画内容の進捗状況について

既報のとおり、2017年の市場活性化キャンペーン『11月3日はビデオの日』は、前年の反省を踏まえ、本年2月からワーキンググループおよびセル、レンタル、PRの分科会を立ち上げ、企画立案を開始、6月16日にはJVA会員社全社、セル事業者の皆様を対象に企画の説明会を行った。その後の各企画についての進捗状況について報告する。

●『プレミアムフライデー・サミット』に島谷会長が登壇

今年のレンタルの活性化キャンペーンは、11月3日の記念日の1日だけではなく、毎月何らかの波を起こそうということから、毎月ある『プレミアムフライデー』に着目。『プレミアムフライデーはおうちでエンタメ！月末金曜は、レンタル店に行こう。』をスローガンに決めた。このアピールの一環として、去る6月30日、東京国立近代美術館の講堂で行われたプレミアムフライデー推進協議会が主催する「プレミアムフライデー・サミット」に、パネリストとして、島谷能成会長(「ビデオの日」実行委員会委員長)が登壇した。

サミットには島谷会長のほか、石原伸晃氏(経済再生大臣/当時)、石塚邦雄氏(経団連副会長)をはじめ、

プレミアムフライデー(PF)を推進している企業から、久保健氏(三井住友カード社長)、中山勇氏(ファミリーマート会長)、河合克也(水上印刷社長)、森恵一(I LOVE しずおか協議会会長)、宮嶋貴之(みずほ総研エコノミスト)の方々が参加され、導入から5カ月たったPFについて討論会を行った。島谷会長は、PFとDVDがコラボレーションしたロゴを紹介しながら、ビデオ市場の活性化キャンペーンのレンタルの施策として、プレミアムフライデーに全国のレンタル店でキャンペーンを展開していくことなど、ビデオレンタル業界の今後の取り組みをアピールした。



▼劇場用フリーペーパー8月号紙面デザイン

●劇場用フリーペーパーの発行

全国の映画館で配布されているフリーペーパー3誌、『シネコンウォーカー』『イオンエンターテイメントマガジン』『TOHOシネマズマガジン』に、『11月3日はビデオの日』の常設ページを出稿し、当月のレンタルおすすめ作品の紹介、セル作品の予約促進のための紹介をしていくこととなり、8月5日(土)に第一回目の掲載誌の配布が始まった。この企画は、毎月1回ずつ年間を通じて継続していく。第一弾の誌面は前頁のとおり。

●セル企画：コンシューマーキャンペーンの名称とロゴが決定

セルの販売促進企画として、コンシューマー向けに業界ならではの体験を抽選でプレゼントする企画を立案。この度キャンペーンタイトルとロゴが下のよう決定した。
タイトル：11月3日はビデオの日 プレミアム体験キャンペーン

▼プレミアム体験キャンペーン ロゴ



既報のものと合わせ概要は以下のとおり。

[期間] 10月1日～11月30日

[対象] ECを含め全国のセル販売店

[応募対象] DVD、BD、UHDを3,000円以上ご購入の方

[賞品] ハリウッドスタジオ日本支社の試写室での試写会／映画出演／吹き替え体験／撮影所見学／テレビ局見学／音楽録音スタジオ見学／アニメ制作現場見学 etc.

なお、本キャンペーンの一般告知は9月16日(土)とし、キャンペーン公式ホームページ(www.videonohi.jp)やSNS、後述のキャンペーン小冊子等で告知していく。

また、9月16日以降に各会員メーカーが発行する宣材物、告知物に『プレミアム体験キャンペーン』のロゴを掲出していく他、各メーカーの店頭プロモーション用PVの冒頭に、応募の仕方を説明した動画を挿入して、露出を図っていくこととしている。ロゴデータ及び応募告知PV素材は、JVAホームページの会員専用ページからダウンロードできる。

さらに、(株)サントリーの『ザ・プレミアム・モルツ』とタイアップし、秋以降の同商品6缶パック購入者に、DVDやブルーレイをプレゼントする消費者キャンペーンを実施しながら、同商品のジャケット上に『体験キャンペーン』の告知をしていく予定となっている。

●セル企画：初BD化企画について

11月3日「ビデオの日」近辺に、これまでブルーレイが出ていない作品をBD化し、各社まとめてリリースすることでボリューム感を演出しようという企画だが、こ

のほど、リリースのタイトルがまとまった。(下記参照)7社から24作品がエントリーされ、それぞれの作品ジャケットには、下の図のようなシールを貼付して出荷される予定。

▼『初BD化シール』デザイン



●セル企画：キャンペーン小冊子について

セルの『11月3日はビデオの日 プレミアム体験キャンペーン』の実施にあわせ、セルのリアル店の店頭で消費者に配布してもらうキャンペーンの小冊子(A5サイズ、4C)を作成する。

掲載内容は、『プレミアム体験キャンペーン』の賞品の詳細と応募方法について、初BD化商品の紹介、10月～11月リリースのおすすめ作品の紹介、4KUHDの解説と作品紹介などとなっている。作品エントリーをいただいた会員各社の他、(株)第一興商およびDEG(デジタルエンターテイメント・グループ)ジャパンから出稿協力をいただいている。制作部数は20万部、9月16日以降配布の開始の予定。

★初BD化作品

	作品名	社名
1	牯嶺街少年殺人事件	(株)ハピネット
2	ミッドウェー 海戦75周年アニバーサリー特別版	〃
3	デューン 砂の惑星 I & II The Complete Blu-ray BOX	〃
4	日本のいちばん長い日	東宝(株)
5	激動の昭和史 沖縄決戦	〃
6	フランケンシュタイン対地底怪獣	〃
7	マタンゴ	〃
8	モスラ 3部作	〃
9	オレンジロード急行	松竹(株)
10	満月 MR.MOONLIGHT	〃
11	美少女戦士セーラームーンR Blu-ray COLLECTION 1	東映ビデオ(株)(販売元:東映株)
12	新幹線大爆破	〃
13	冬の華	〃
14	昭和残侠伝	〃
15	ホテル	〃
16	宇宙刑事シャリバン Blu-ray BOX1	〃
17	美女と野獣/ベルの素敵なプレゼント MovieNEX	ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
18	「ハウリングII(最終盤)」Blu-ray 「ハウリングI」Blu-ray 「ハウリングII」Blu-ray	キングレコード(株)
19	「ザ・フォッグ(最終盤)」Blu-ray 「ザ・フォッグ」Blu-ray	〃
20	「ストリート・オブ・ファイヤー」Blu-ray	〃
21	近松物語	(株)KADOKAWA
22	山椒大夫	〃
23	オーディション	〃
24	アマルコルド	〃

2017年度中堅社員合同研修会を開催

総務人事委員会(枇榔浩史委員長 東宝(株))は、8月4日(金)午後1時より、当協会会議室において2017年度中堅社員合同研修会を実施した。参加人数は25名、参加社は、ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)、(株)NHKエンタープライズ、ギャガ(株)、キングレコード(株)、松竹(株)、東映・東映ビデオ(株)、東宝(株)、日活(株)、(株)パップ、バンダイビジュアル(株)、(株)ポニーキャニオンの13社だった。

当日は(1)調査データから見る映像ソフト市場の動向(講師：上田直子JVA副事務局長)、(2)アメリカにおけるホームエンターテイメント市場(講師：小澤啓一ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)メディア・ディス

トリビューションマーケティングディレクター)、(3)コンテンツ産業と著作権(講師：小林靖子JVA業務部法務課兼著作権担当主事)の3つの講義が行われた。続いて、『若い世代をビデオパッケージユーザーにするには』をテーマにグループワークを行った。研修後は会場を移して懇親会が行われ、盛況のうちに終了した。

参加者より回収したアンケートには「グループワークの他社の方々とのディスカッションや交流は新鮮な経験だった」など概ね有意義であったというご感想をいただいた。同委員会ではこのアンケート結果を踏まえ、更に有益な研修となるよう検討を行う。

▼多くの方々にご参加頂いた



▼グループワークに取り組む皆さん



アンチリッピングキャンペーン

アンチリッピングキャンペーン トレーラー収録作品数

当協会は、アンチリッピングを訴える「サラリーマン山崎シゲル」オリジナル動画を、2015年9月より会員各社のリリースするレンタル商品にトレーラーとして収録するキャンペーンを実施している。キャンペーンの推進状況を把握するため、四半期ごとに参加各社へアンケートし、収録作品数を記録している。

2017年4月～6月期間の収録作品数は110作品(未回答有り)となり、2015年9月からの累計は1041作品となった。

なお、本キャンペーン参加社は、アスミック・エース(株)、(株)アニプレックス、エイバックス・ピクチャーズ(株)、(株)KADOKAWA、ギャガ(株)、キングレコード(株)、松竹(株)、東映ビデオ(株)、20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株)、日活(株)、(株)博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、(株)パップ、(株)ハピネット、バンダイビジュアル(株)、(株)ポニーキャニオン、ワーナー ブラザース ジャパン(同)の計17社。

イベント

「映像素材のファイル化に合わせた クラウドサービス活用のご提案」説明会を開催

去る、7月20日(木)午前11時と午後1時からの2回、当協会会議室において、協賛会員社であるソニーPCL(株)が、「映像素材のファイル化に合わせたクラウドサービス活用のご提案」として協会会員社へ説明会を開催した。

SONYの業務用ハーフインチVTRとハーフインチカムレコーダーの全機種については販売が終了し、保守サービスも2023年までを予定しており、膨大な映像素材の保管や管理については業界としても課題となっている。この件については、当協会においても、業務部会幹事会を通じ情報の共有を行っているところである。

当日は、46名が出席し、ソニーPCL(株)松林様、富士通エフ・アイ・ピー(株)、ソニービジネスソリューション(株)、富士通(株)の各担当者が各社の提案について説明をした。

『映像ソフト市場規模およびユーザー動向調査2016』報告②

前号既報のとおり、マーケット調査委員会(森口和則委員長松竹(株))は、デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパンと共同で『映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2016』を実施し、4月に結果を公表した。本号では、前号に引き続き結果を報告する。

本調査は、「ビデオソフト市場(DVDとブルーレイのセル及びレンタル)」と、ユーザーがコンテンツに対して対価を払うことで視聴する「有料動画配信市場」を、「映像ソフト市場」として定義した上で、その市場規模とユーザーの利用動向について、ユーザーに対するアンケートを基に、調査したものである。

調査概要

(1)調査対象

全国に居住する満16歳～69歳の男女で、インターネット利用者。(性年代別・都道府県別構成比を住民基本台帳に基づいて割り付けたインターネット利用者を対象に調査を実施し、その回収標本に対する補正をACR/Ex調査結果(株ビデオリサーチ)を用いて実施した)

(2)調査実施 2017年1月

(3)調査対象期間 2016年1月～12月

(4)調査方法 インターネットによる調査

(5)回収サンプル構成

(a)一般調査:1,500サンプル

(b)有料動画配信調査:300サンプル

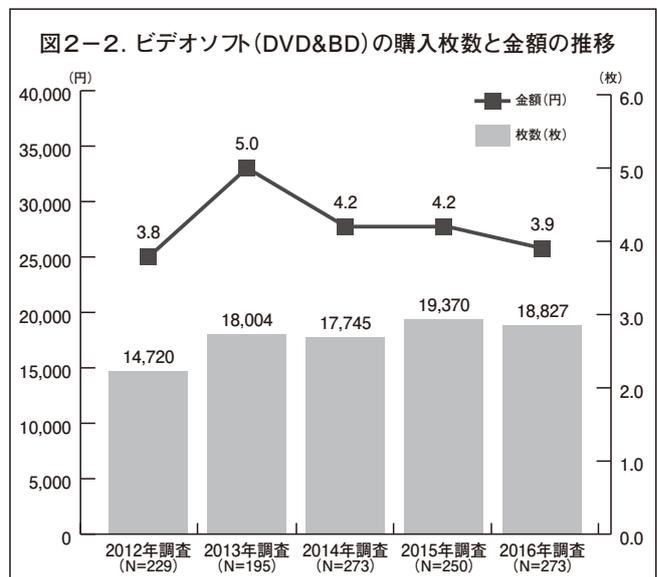
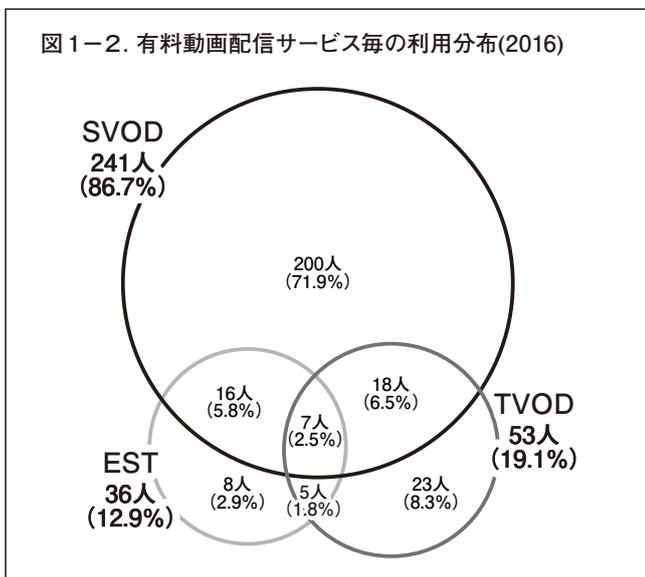
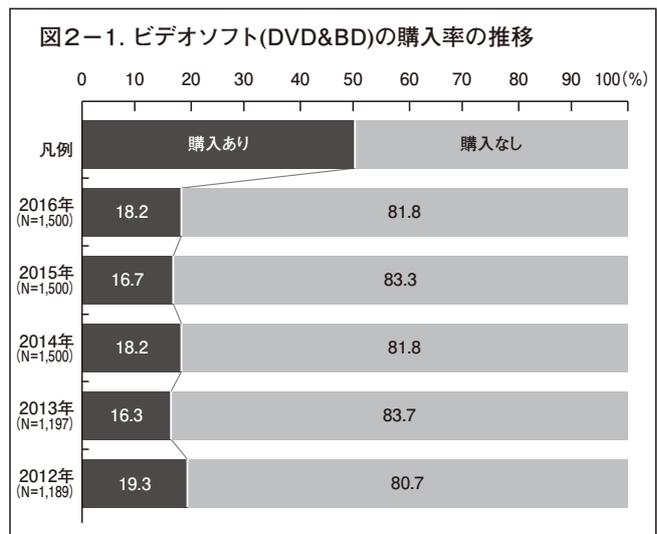
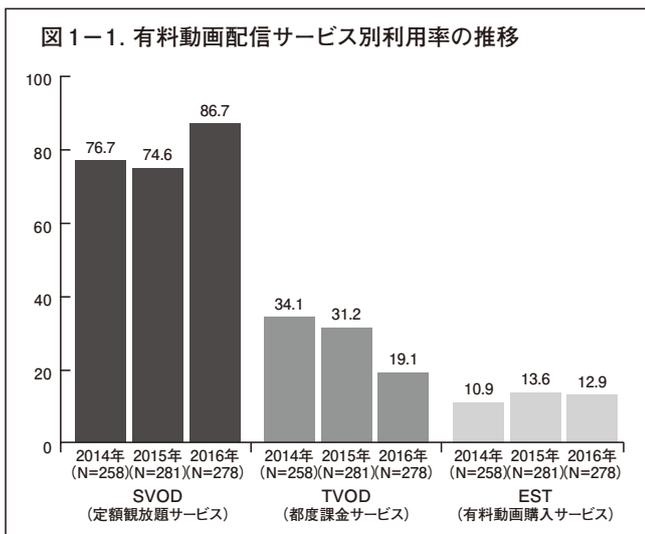
(6)調査機関 企画分析:(株)文化科学研究所/調査実施:(株)ビデオリサーチ

(7)有料動画配信サービスについて

2015年から、有料動画配信サービスには、有料放送局(WOWOWやスカパー!)会員やCATV契約者が追加契約なしでみられる見放題のVODや、ポータルサイトの有料不随サービスとしての見放題VOD、あるサービスの有料会員になることの付随サービスとしての見放題VODの視聴を含む。

(8)集計データの補正

本調査は16歳～69歳のインターネット利用者を対象として実施したため、同世代の一般個人におけるデータとして推計するために、補正データとして、「ACR/Ex調査」を用いる。「ACR/Ex調査」の対象者全体が一般の市場全体を代表しているとなして、性年齢別にウエイト値を求め、データの補正を行った。



調査結果の概要 (前号に続く)

5. 有料動画配信サービス別の利用状況

有料動画配信サービス利用者の各サービス利用率は、SVODが86.7%で最も高く、TVODは19.1%、ESTは12.9%となっている。時系列ではSVODが伸張、ESTは横ばい、TVDOは急減している。

各サービスの利用の重なり具合をみると、SVOD単独が71.9%と最も多く、ついでTVOD単独の8.3%、SVODとTVODの双方の6.5%、SVODとEST双方の5.8%と続く。EST単独は2.9%に止まる。(図1-1、図1-2)

6. ビデオソフトの購入とレンタルの利用状況

2016年のビデオソフトの購入率は18.2%と2014年の水準を回復、この5年は概ね横ばい傾向を保っている。購入枚数は3.9枚となっており、2013年から減少傾向が続く。平均購入金額は18,827円で、購入率の拡大に伴って2015年より若

干低下したが、これもこの5年の中では2番目に高い。また、年間3万円以上ビデオソフトを購入するヘビーユーザーは2015年よりやや増加し2.9%となり、この層の購入金額がセル市場全体に占める割合は58.1%と高く、ヘビーユーザーを中心に市場を支えている構造は変わらない。

一方、ビデオソフトのレンタル利用率は、2014年に『アナと雪の女王』効果で一時上昇したものの、2015年以降、再び長期低落傾向に戻った。また、平均利用枚数、年間のレンタル金額も長期低落となっている。ただし、1枚当たりの単価については上昇を続けており、過去5年で31.8%増となる205.8円となっている。(図2-1、図2-2、図2-3、図2-4)

7. BD機器と4Kテレビの所有率

BD機器の所有率は59.6%で、2015年の60.1%から横ばい。一方、4Kテレビの所有率については、4.7%と2015年の3.0%から増加した。(図3-1、図3-2)

図2-3. ビデオソフト購入のセルヘビーユーザーの割合及び全ユーザーの購入総額に占める割合(全体)

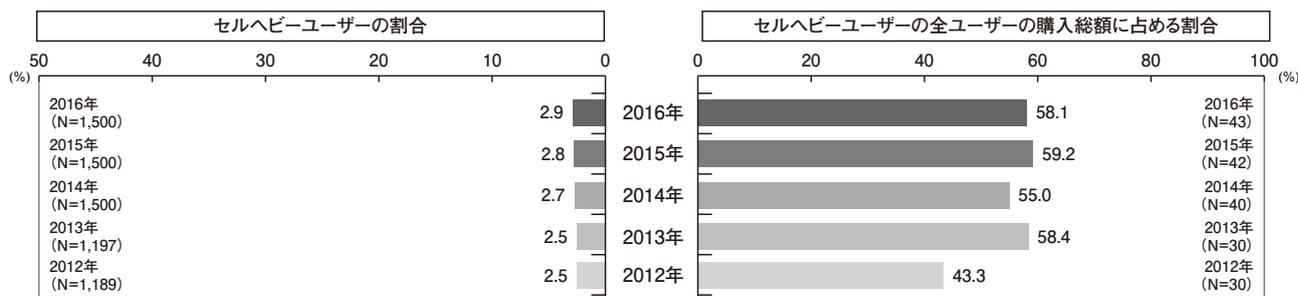


図2-4. ビデオソフトのレンタル利用率・平均利用枚数・平均利用金額の推移

ビデオソフトのレンタル全体

	調査数	レンタル利用率	利用者の平均枚数	利用者の平均金額	1枚当たりの単価
2016年	N=1,500	30.1%	17.0枚	3,498円	205.8円
2015年	N=1,500	31.9%	18.9枚	3,673円	194.3円
2014年	N=1,500	37.1%	22.6枚	3,934円	174.1円
2013年	N=1,197	34.6%	26.9枚	3,763円	139.8円
2012年	N=1,176	39.0%	29.0枚	4,530円	156.2円

図3-1. BD機器所有率の推移

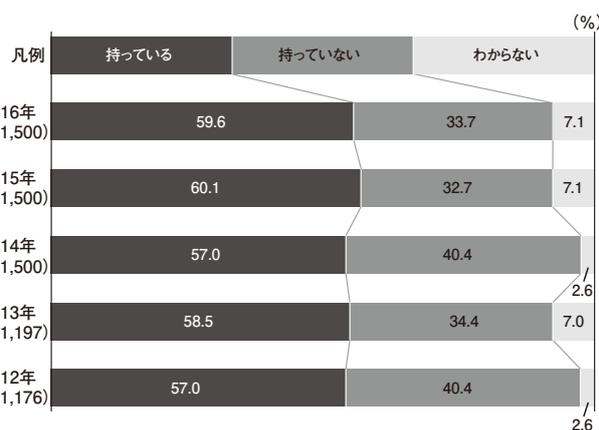
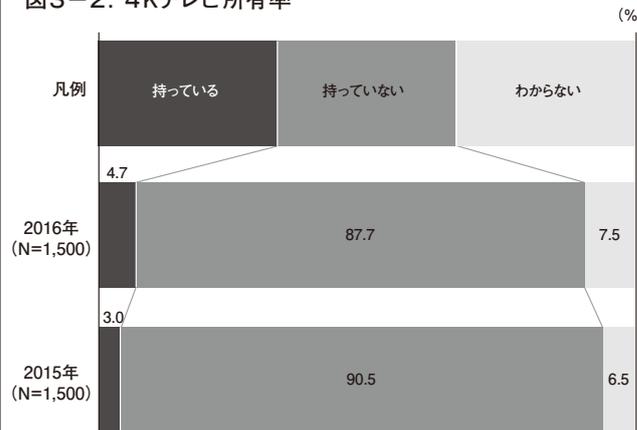


図3-2. 4Kテレビ所有率



不正商品撲滅キャンペーン

『ほんと?ホント!フェアin 千葉~守ろう情報セキュリティと知的財産~』盛大に開催

不正商品対策協議会 (ACA) では、6月10日 (土) に、不正商品を排除しよう!との主旨のもと、『ほんと?ホント!フェアin千葉~守ろう情報セキュリティと知的財産~』を、セブンパークアリオ柏 (千葉県葉柏市大島田950-1) において開催した。来場者は約1,500人だった。

今回で30回目を迎える「ほんと?ホント!フェア」は、インターネットを悪用したサイバー犯罪が増加している中、広く一般消費者に知的財産の保護と不正商品の排除を訴えた。

当日は、柏市の地元タレントや千葉県警察音楽隊のミニコンサートが行われ大いに盛り上がった。また、千葉県警察の

シンボルマスコットであるシーボック、千葉県PRマスコットキャラクターのチーバくんも応援に駆け付け、来場者は、ステージで繰り広げられる様々なプログラムや、ホンモノ・ニセモノを比較する約100点の展示品やクイズラリーなどを楽しんでいた。

◇主催 不正商品対策協議会 (ACA)

◇協力 千葉県警察本部/柏警察署/セブンパークアリオ柏

詳細は不正商品対策協議会ホームページまで

(<http://www.aca.gr.jp/>)

▼イベント会場の様子



▼○×クイズの様子



▼クイズラリーの様子



▼ホンモノとニセモノを比べる展示



「第6回著作権を守ろう!」PRポスター作品募集!!

著作権侵害をはじめとする知的財産権の侵害は、デジタル・ネットワーク化の進展により、いまや国際的な問題のひとつとなっている。その侵害防止には、小学生、中学生といった若年層から著作権の保護に対する認識をもつことが重要となっている。

不正商品対策協議会は、若年層に対し、広く著作権に対する保護意識を高めてもらうことを目的として、小学生、中学生から「著作権を守ろう!ポスターコンクール」の作品募集を実施する。警察庁、文部科学省のご支援により、全国の小学校児童 (小学生4年生から)、中学校生徒を対象に募集をかけ、夏休み期間中にポスターづくりに励んでもらう。

締切:2017年9月22日 (金)

「第6回著作権を守ろう!ポスターコンクール」応募事務局到着分まで

詳細は不正商品対策協議会ホームページまで

(<http://www.aca.gr.jp/>)。

また、お問い合わせは、不正商品対策協議会担当 吉原、高木まで

(TEL03-3542-2010)

(執筆:ACA事務局)

2017年度定時社員総会を開催

2017年6月8日、CODAは2017年度定時社員総会を開催した。

今回は役員の変更が行われ、理事に高杉健二・一般社団法人日本レコード協会常務理事、中山良夫・日本テレビ放送網株式会社取締役 執行役員、村上潔・キングレコード株式会社専務取締役の3名が新たに選任された。総会後の理事会では、代表理事に島谷能成・一般社団法人日本映像ソフト協会会長、副代表理事に辻本憲三・一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会理事長が再任された。また、今回新たに後藤健郎・一般社団法人日本映像ソフト協会専務理事がもう1人の代表理事として選任された。これは、CODAが海外のエンフォースメントを強化するにあたり、その具体的手続きを行う代表として任命されたもの。2017年度、CODAは、特に中国における日本コンテンツの権利侵害に対して、行政・刑事手続きを行い、さらには押収された証拠品等に基づいて損害賠償請求を行うなど、悪質な侵害行為者には、これまで以上に厳しい姿勢でのぞんでいく。

総会では、このほか2016年度事業報告と2017年度事業計画などが承認された。2017年度は先述の海賊版に対する刑事・民事をパッケージとした対策のほか、オンライン上の侵害についても、従来行ってきた「自動コンテンツ監視・削除センター」によるサイト監視・動画認識（照合）をさらに強化し、テレビ放送と同時並行したフィンガープリント生成、目視による網羅的な監視を実現する人的モニタリングを増強するなど、総合的監視体制を構築し、侵害動画の早期発見・削除を進めていく。

また、これまでさまざまな場面で政府に対して要望を行ってきた「リーチサイト」のみなし侵害化に向け、引き続き意見表明を行うとともに、改正後の体制や運用についても検討する。



第10回日中韓文化コンテンツ産業フォーラムに参加

6月28～29日、日本の経済産業省、中国の文化部、韓国の文化体育観光部が共同主催する「日中韓文化コンテンツ産業フォーラム」が東京都江東区の東京ビッグサイトで開催され、各国政府、団体など数多くの関係者が参加した。

同フォーラムは、日中韓3カ国におけるコンテンツ産業政策、動向に関する継続的な情報交換及び各国産業界間のビジネスチャンス創出等を目的として、2002年に設立された官民合同会議。第10回目となる今回は、日本がホスト国として、「コンテンツ東京」と併催する形で開催された。

28日に開催された「政府間会議」では、経済産業省商務情報政策局竹内芳明審議官(当時)より「3カ国コンテンツの相互流通に向けたコンテンツ振興施策の探求」と題したプレゼンテーションが行われた。この中で、CODAの後藤健郎代表理事より海賊版対策や広報啓発等についての活動報告を行ったほか、3カ国が共同で一般消費者を対象にした知的財産保護に関する広報啓発活動の提案を行った。

これらを含めた協議の結果、3カ国の合意を取りまとめた「共同宣言文」が採択され、日本の大申正樹経済産業大臣政務官、中国文化部副部長、韓国文化体育観光部第1次官がそれぞれ握手を交わした（写真）。

CODAは、今後中国、韓国に対して、来年4月26日の「WIPO世界知的所有権の日」を機に、3カ国で一般消費者を対象にした知財保護キャンペーンの開催や、3カ国語による共同啓発ポスターの作成など具現化へ向けた提案と検討を進めていく。

(執筆：CODA事務局)





リレーエッセイ

126

アスミック・エース(株) 佐野 真之 氏からのご紹介

● 畠山 宏 氏

(ワナー ブラザース ジャパン(同))

ワナー・ブラザース テレビジョン&ホームエンターテイメント 営業部 ディレクター)

「真夏の由宇と広島」

夏が近づいてきました。ここ数年、毎年8月に広島へプライベートで行くようになりました。元々小学校4年頃、そう、少年野球真っ盛りの時に広島カープが初優勝して以来、名前のヒロシとヒロシマが被るという、いかにも頭の悪い子供な理由でカープのファンになりました。やっぱり地元で、球場全体が真っ赤な中で応援する幸せを体感したと、この時期になると胸がざわつきます。広島へは朝イチの便で向い、広島空港についたら即座に山口県由宇にある2軍の球場に向かいます。由宇は広島から電車で1時間ほどのところにあり、駅前には何もないほんとに質素な田舎の町で、2軍の由宇球場はここからタクシーでさらに20分ほど山の中に入った、超田舎にあります。以前は地元のカープファンがバラバラと見ている程度でしたが、昨今のカープ人気で、2軍の球場も驚くほど人が集まり、臨時駐車場が空地に増設されるほどになりました。日よけもない真夏の炎天下の中、地元のファンにまじり、頭にタオルを巻いて熱中症寸前になりながら若鯉の活躍と、2軍に落ちているベテランの調整具合をチェックします。試合の合間に、出店で売っている焼きそばとビールをグビッとやる、これが至福のひとつです。ここで、真っ黒になって頑張っている若鯉たちが、一軍の晴れ舞台上で活躍するのも、勝手に自分が育てたのかのごとく親近感を持って見ています。2時間ほど2軍の調整を見たら、いよいよ1軍の球場ズームズームスタジアムに移動するのですが、途中必ず立ち寄るのが、岩国駅前にある寿栄広食堂。同じカープファンの

知人に紹介してもらったのですが、この中華そば(¥600)が美味しい。この店は、小さな店でたいしてお客もいないのに、入口で食券を買うと、おばちゃんがマイクで厨房に注文するシステム。食券もマイクも絶対いらないと毎回思いますが、それも味があってまた良いのです。そこから、広島に向かうと時間はもう17時頃でしょうか、ズームズームスタジアムへは駅から線路沿いに7~8分歩きます。一日の仕事を終えた人たちが広島中から集まって1本道を球場へと向かいます。なんとその通り沿いにあるローソンの看板までもがカープ色(赤)になっています。その行列と西日に照らされた球場が自分の中でも大好きな風景であります。

みなさんご存知の通り昨年カープは25年ぶりにリーグ優勝を果たしました。また、TVではカープ芸人たちがもてはやされ、カープ女子も流行語になるほど、今では超人気球団になりました。何年前か前までは、神宮や横浜での試合は当日ふらっと仕事終わりで行って楽勝で観戦できたのですが、今ではホーム球団以上にカープファンが集まり、チケットが中々手に入らなくなってしまいました。そんな不憫な思いをすると、どこからか湧いてでてきたわかファンが疎ましくも思う事もありますが、あまりにも長い不遇の時代を経験してきたので、カープが強いというこの至福の日々を謙虚に楽しみたいと思います。今年もまた真夏の由宇と広島に行って真っ赤に染まってきます。

▼日誌に見る協会の動き

【6月】

- 1日 市場活性化キャンペーンWG全体会議
- 2日 権利者団体対応委員会
著作権部会
- 5日 「ビデオの日」セル分科会
- 7日 マーケティング委員会
- 8日 総会・定例理事会
- 9日 業務使用対策委員会
「ビデオの日」レンタル分科会
- 13日 総合連絡委員会
- 16日 「ビデオの日」(会員社・セルアカウント
マスコミ向け)説明会
- 20日 市場活性化キャンペーンWG

- 「ビデオの日」PR分科会
- 22日 「ビデオの日」セル分科会
- 27日 「ビデオの日」セル・レンタル・PR分科会
- 28日 総務人事委員会
- 29日 業務部会幹事会

【7月】

- 4日 定例理事会
- 5日 eメディア部会運営委員会
マーケティング委員会
- 7日 権利者団体対応委員会
著作権部会

- 10日 「ビデオの日」PR分科会
市場活性化キャンペーンWG全体会議
- 11日 「ビデオの日」レンタル分科会
総合連絡委員会
- 12日 「ビデオの日」セル分科会
- 14日 業務使用対策委員会
- 20日 「これからの映像コンテンツ管理について」説明会
消費者委員会
中部地区連絡協議会定例会議
- 21日 関西地区連絡協議会定例会議
- 25日 「ビデオの日」分科会(セル・レンタル・PR)
- 26日 東北地区連絡協議会定例会議

統計

JVA会員によるメーカー出荷段階の金額、数量について集計した統計調査

2017年5月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	5月実績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1月～5月の累計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用(個人向)	6,099	68.7%	176.4%	1,602	43.5%	150.4%	306	102.7%	増減 14社 15社 1社	27,157	62.6%	89.4%	7,361	38.5%	70.5%	2,028	99.7%	
特殊ルート	88	1.0%	135.4%	343	9.3%	104.3%	91	260.0%		153	0.4%	235.4%	607	3.2%	184.7%	122	348.6%	
レンタル店用	2,628	29.6%	84.6%	1,725	46.9%	95.0%	380	101.6%		15,709	36.2%	85.7%	11,041	57.7%	102.7%	1,956	112.4%	
業務用	57	0.6%	93.4%	11	0.3%	97.2%	35	74.5%		354	0.8%	58.6%	128	0.7%	19.5%	181	88.3%	
DVDビデオ	8,872	53.7%	132.6%	3,680	70.5%	114.3%	812	107.7%		43,373	56.0%	87.8%	19,137	73.5%	86.3%	4,287	106.8%	
販売用(個人向)	7,375	96.5%	154.5%	1,446	93.7%	169.6%	187	70.0%		増減 18社 9社 3社	32,468	95.5%	95.2%	6,087	88.2%	90.7%	1,213	95.9%
特殊ルート	10	0.1%	-	2	0.1%	-	1	33.3%			97	0.3%	-	25	0.4%	-	5	0.0%
レンタル店用	257	3.4%	90.8%	95	6.2%	84.9%	10	18.2%			1,429	4.2%	88.3%	784	11.4%	73.8%	103	117.0%
業務用	1	0.0%	14.3%	0	0.0%	14.0%	0	-			18	0.1%	23.9%	2	0.0%	14.4%	1	-
ブルーレイ	7,643	46.3%	150.9%	1,544	29.5%	159.9%	198	60.9%		34,012	44.0%	95.0%	6,898	26.5%	88.5%	1,322	97.7%	
合計	16,515	100.0%	140.5%	5,224	100.0%	124.8%	1,010	105.0%		77,385	100.0%	90.9%	26,035	100.0%	86.9%	5,609	104.5%	

◎今月の売上報告社数……30社(*前年同月の報告社数31社) ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、又は前年同月の報告がない場合
 ◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。
 ◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。

2017年6月度(参考値)

(金額：百万円 数量：千枚)

	6月実績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1月～6月の累計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用(個人向)	4,245	58.9%	70.8%	1,477	45.4%	76.9%	470	126.3%	増減 11社 18社 1社	31,402	62.1%	86.3%	8,838	39.5%	71.5%	2,498	103.8%	
特殊ルート	93	1.3%	143.1%	126	3.9%	87.0%	8	20.0%		246	0.5%	189.2%	733	3.3%	154.8%	130	173.3%	
レンタル店用	2,814	39.0%	87.0%	1,642	50.5%	74.9%	402	98.0%		18,523	36.6%	85.9%	12,683	56.6%	98.0%	2,358	109.7%	
業務用	59	0.8%	76.6%	9	0.3%	55.6%	27	117.4%		413	0.8%	60.6%	137	0.6%	20.4%	208	91.2%	
DVDビデオ	7,211	51.8%	76.9%	3,254	67.4%	76.2%	907	107.3%		50,584	55.4%	86.1%	22,391	72.5%	84.7%	5,194	106.9%	
販売用(個人向)	5,743	85.6%	76.3%	1,134	72.0%	81.0%	341	155.7%		増減 13社 14社 2社	38,211	93.8%	91.8%	7,221	85.2%	89.0%	1,554	106.2%
特殊ルート	662	9.9%	389.4%	263	16.7%	488.5%	5	71.4%			759	1.9%	446.5%	288	3.4%	534.3%	10	0.0%
レンタル店用	249	3.7%	105.1%	168	10.6%	160.0%	53	588.9%			1,678	4.1%	90.5%	952	11.2%	81.5%	156	160.8%
業務用	55	0.8%	2750.0%	9	0.6%	2188.2%	0	-			73	0.2%	94.5%	11	0.1%	67.6%	1	-
ブルーレイ (ULTRA HD Blu-rayを含む)	6,709	48.2%	84.5%	1,574	32.6%	101.0%	399	169.8%		40,721	44.6%	93.1%	8,472	27.5%	90.6%	1,721	110.2%	
合計	13,920	100.0%	80.4%	4,829	100.0%	82.8%	1,306	120.9%		91,305	100.0%	89.1%	30,863	100.0%	86.2%	6,915	107.3%	

◎今月の売上報告社数……30社(*前年同月の報告社数31社) ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、又は前年同月の報告がない場合
 ◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。
 ◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。◎ブルーレイの売上には、ULTRA HD Blu-rayの売上を含む。
 ◎システムトラブルにより回答のできない社の数値を推計して加算したため、本調査全体の数字は参考値とする。

『JVA 秋の懇親会』開催のお知らせ

毎年恒例の『秋の懇親会』を、9月12日(火)総合連絡委員会の会議終了後に開催します。

業界活性化ならびに広く現場レベルで会員社の皆様と交流を深めていただくことを目的としております。総合連絡委員会委員の皆様のみならず、是非多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、懇親会のお申し込みは、各社の総合連絡委員の方にお取りまとめいただき、9月1日(金)までにJVA管理部 伊藤(ito@jva-net.or.jp)までご連絡ください。

●懇親会

日時 9月12日(火)午後5時15分から
 場所 Café Serré (カフェセラ)
 東京都中央区築地1-13-1
 銀座松竹スクエア2F (TEL03-3543-7272)
 会費 お一人様4,000円
 (後日、ご請求書をお送りします。)



一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2017年8月1日現在

■ 正会員(29 社)

アスミック・エース(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・ピクチャーズ(株)
(株)NHK エンタープライズ
NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株)KADOKAWA
ギャガ(株)
キングレコード(株)
(株)JVC ケンウッド・ピクチャーエンターテイメント
(株)小学館
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンターテイメント
(株)ソニー・ミュージックエンターテイメント
(株)第一興商
TC エンターテイメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株)東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)バップ
(株)ハピネット
バンダイビジュアル(株)
(株)ポニーキャニオン
ユニバーサルミュージック(同)
(株)よしもとアール・アンド・シー
リバプール(株)
ワーナー ブラザース ジャパン(同)

■ 協賛会員(18 社)

(株)アニプレックス
(株)一丸印刷所
(株)IMAGICA
エイベックス・エンターテイメント(株)
カルチュア・エンターテイメント(株)
(株)キュー・テック
(株)金羊社
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューションシステム
(株)星光堂
ソニー PCL(株)
東芝デジタルフロンティア(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
(株)博報堂 DY ミュージック & ピクチャーズ
(株)ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)

編集・発行 一般社団法人 日本映像ソフト協会

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館2F 電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>



サラリーマン 山崎シゲル

× 日本映像ソフト協会 <http://www.jva-net.or.jp/anti-ripping/>

アンチリッピングキャンペーン DVDのリッピングは違法です!

知って
いますか?

11月3日は
ビデオの日 あうやで エンタメ!
<http://www.videonohi.jp/>